

畑地整備により荒廃農地が解消し、良好な景観の保全に貢献。地域資源を活用した農業イベントの開催により、都市農村交流を推進。

地区の特徴

- ・北杜市明野町では、茅ヶ岳山麓に広がる高地の畑地帯で農業を基幹産業としてきたが、天水に依存しているため度々干ばつ被害を受けるとともに、高齢化等に伴い荒廃農地が増加。
- ・このため、地域活性化構想の検討や畑地帯総合整備事業による整備の実施により、荒廃農地が解消、集約された農地への企業参入が進み、地元雇用が創出。



（出典：北杜市HP）

農業農村整備事業との関係

【畑地帯総合整備事業「明野地区」（H4～H23）】

- ・安定的な用水確保により高収益作物の生産が可能になったほか、農地集積による大規模な営農団地を目的別に形成。
- ・耕作放棄地発生防止、良好な農村景観の保全にも貢献。
- ・各種の農業イベントが開催され都市農村交流が活発化。

取組の内容

- ・農業農村整備事業により区画整理された農地では、地域資源を活かした農業イベントが開催され、都市農村交流が図られている。
- ・浅尾地区を中心に生産される浅尾ダイコンは、火山灰土壌と寒暖差、恵まれた日照により、辛味と甘みのバランスがほどよいダイコンとして人気がある。11月のダイコン収穫期にあわせて「浅尾ダイコンまつり」が開催され、ダイコンの収穫体験や青空市場等で多くの人で賑わう。
- ・日照時間日本一を誇る北杜市の花であるヒマワリ60万本が大輪の花を咲かせる「北杜市明野サンフラワーフェス」も人気のイベントで、7月下旬から8月下旬にかけ見頃を迎えるヒマワリ畑に多くの観光客が訪れる。北杜市景観計画は、耕作放棄地の有効利用として景観緑地を挙げており、明野地区のヒマワリ畑は主に景観形成を目的としたものと考えられる。
- ・なお、H29年には、明野のヒマワリと山梨の郷土伝統工芸品の「西嶋手漉和紙」とのコラボ商品として、ヒマワリ和紙を用いた扇子、団扇等の商品が誕生し、イベント後のヒマワリの有効活用が図られている。



浅尾ダイコンまつり（出典：北杜市HP）



北杜市明野サンフラワーフェス
（出典：北杜市明野サンフラワーフェスHP）

取組主体

- 北杜市浅尾ダイコンまつり実行委員会（事務局：北杜市）
- 北杜市明野サンフラワーフェス実行委員会（事務局：北杜市）